

アゼルバイジャンの旺盛な小売需要

アゼルバイジャンの近年の経済成長を受け個人消費の伸びも大きく、2015～22 年の推移をみると、家計消費は約 90%増、小売売上高も 2.1 倍に急増しています(国家統計委員会)。

アゼルバイジャンの小売形態は、昔ながらの個人商店や市場からスーパーマーケットチェーンへと変わり、大小さまざまな規模のスーパーが全国に 2,600 店舗以上あります。

とりわけ人口急増中のバクー市(実際の人口は三百数十万人と言われていた)の商業施設の活況は顕著で、市内に8か所ある大型商業施設は常に家族連れ、若者等で賑わいを見せています。国内最大のショッピングモールであるガンジリック・モール(写真左)は年間延べ 1 千万人以上の来場者を記録している由。また、海岸公園にあるデニズ・モール(写真右)は屋内アミューズメントパークもあり子供連れに人気です。最近では中東・インド等の観光客やロシアからの長期滞在者が高級ブランド消費を牽引しているようです。

自動車販売でも、旺盛な自動車需要に対し供給が追いつかない、最上級車種から売れていく、エコカー(ハイブリッド車、電気自動車)に対する付加価値税免除等によりこれらの販売が急増している(当地大手ディーラー談)といった状況であり、富裕層の高い購買意欲がみてとれます。



(写真出典:PASHA Malls 社 HP)

(以上)